

2026 年 9 月 3 日

**Notes アーカイブデータの利活用を実現する  
Dify アプリケーションを開発、個別提供を開始  
～ Dify を活用し、検索困難なアーカイブ情報の活用を促進 ～**

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)は、企業内に蓄積された Notes アーカイブデータを生成 AI で活用可能にする Dify アプリケーションを開発しました。本アプリケーションは、Notes のアーカイブ環境に保存された情報を Dify 上でナレッジとして活用し、自然言語による検索や対話形式での情報参照を可能にします。

生成 AI の業務活用が加速する中、企業内に蓄積された過去の文書やナレッジを AI 活用基盤へ取り込む需要が高まっています。特に Notes で管理されてきた情報資産は、長年蓄積された貴重な業務ナレッジが含まれる一方、独自のデータ構造やアーカイブ形式を持つことから、生成 AI による検索・参照に適した形式へ変換し、継続的に活用できる環境を整えることが課題となっていました。

今回開発したアプリケーションは、Azure Blob Storage など Web ストレージにアーカイブされた Notes データの URL に含まれる情報をもとに、文書やフォルダ構造を自動的に収集・解析し、その結果をもとに Notes データを Dify 上でナレッジベースとして活用できる形式に変換し登録します。これにより、従来は閲覧や検索に時間を要し、即時利用が難しかった Notes アーカイブデータを、生成 AI が参照可能なナレッジとして活用できるようになります。さらに、本アプリケーションは Dify 上で開発しているため、ナレッジ化したデータを活用したチャットボットやナレッジ検索などの Dify アプリケーションの開発に加え、お客様の業務課題や保有データに応じて、社内システムなどと連携した業務ワークフローの構築も可能です。これにより、過去の業務記録や問い合わせ履歴、技術文書などの情報資産の効率的な活用を実現し、業務の高度化やナレッジ活用の促進を支援します。

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
E-mail : [zjc\\_rjccd@jp.ricoh.com](mailto:zjc_rjccd@jp.ricoh.com)

お客様の問い合わせ先 リコーのAIに関するお問い合わせ  
<https://promo.digital.ricoh.com/ai/contact/>

## Notesアーカイブデータ活用 AIアプリケーション



本アプリケーションは、Dify を導入済みで Notes アーカイブデータの活用に課題を抱えるお客様の利用環境や要件に合わせた形で、本日より伴走支援サービスの一環として個別提供\*を開始します。

リコージャパンは今後も Dify の各種ライセンスや、導入から活用定着までを支援する伴走型の Dify 支援サービスに加え、お客様固有の業務課題に応じた Dify アプリケーションの個別開発・構築サービスを提供してまいります。業務ナレッジ活用や業務プロセス改善など、お客様ごとの要件に合わせた有償アプリケーション開発を通じて、生成 AI の活用定着と業務変革の実現を支援します。

\* 本アプリケーションは、お客様にてアーカイブされた Notes データを対象として開発しています。対応可否はアーカイブの形式や保存方法によって異なるため、個別に検証させていただきます。

リコージャパンはリコーグループの実践活動で培ったノウハウとともに、お客様に寄り添い、業種業務に合わせて利用できる「使える・使いこなせる AI」を提供し、お客様が取り組むオフィス／現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援してまいります。

### ■関連ニュース

リコーグループの実践から生まれた「Dify活用可視化ダッシュボード構築サービス」を提供開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0731\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0731_1)

リコー、Difyアプリマーケットプレイスの社内運用を開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0608\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0608_1)

「Dify Essential/Standard」ライセンスと、Difyアプリケーションの無償テンプレートを提供開始

[https://jp.ricoh.com/release/2026/0601\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2026/0601_1)

リコージャパン、Dify アカデミック版と教育支援サービスを提供開始

[https://jp.ricoh.com/release/2025/0630\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2025/0630_1)

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」開発元の LangGenius, Inc.と販売・構築パートナー契約を締結

[https://jp.ricoh.com/release/2024/1217\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2024/1217_1)

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」を活用した社内実践を開始し、AI の市民開発に向けた取り組みを加速

[https://jp.ricoh.com/release/2024/1128\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2024/1128_1)

## ■関連情報

Dify

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/service/dify/>

※Azureは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>